～～～　みなパソ通信　～～～

第１号

初夏の候、皆様には、ますます、ご清祥のこととお慶び申し上げます。また、平素は、大変、お世話になり、厚く御礼申し上げます。
さて、「みなパソ通信」では、日頃、教室では、なかなか、お伝えできないパソコンに関するチップスや話題をご提供申し上げます。
当分、不定期刊行となりますが、どうぞ、ご愛読くださいますようお願い申し上げます。

こんにちは。南中野パソコン教室の荒畑です。
会員の皆様には、いかが、お過ごしでしょうか。
さて、今号では、パソコンの寿命と大切なデータのバックアップについて、お話ししたいと思います。

【Windows 98･Meがサポート切れ】

いささか、旧聞に属しますが、2006年夏にマイクロソフトより、Win98とMeに対するすべての無償サポートが終了した旨のアナウンスがありました。
また、ウイルスバスターなど複数のウイルス対策ソフトも、ほぼ、本年夏までででにその対象から、これらのOSを外すことになっています。
従いまして、現在、Win98やMeのパソコンをお使いで、しかも、インターネットにつないで利用されていらっしゃる方は、一時も早く、Win XP（サービスパック2を適用したもの＝2014年まで）または、最新のVista搭載のパソコンに乗り換えていただくことを強くお勧めいたします。

【パソコンの寿命】

パソコンの寿命は、使用頻度や環境、製品のばらつきによって、違うものの、概ね、3年～5年程度と考えていただくとよいでしょう。そのため、3年を過ぎたら、そろそろ、買い換えを検討し、壊れる前にデータの移行を実行することが必要です。（壊れてしまってからでは、状況は、かなり絶望的です）
3年って、ちょっと、もったいないでしょうか？
そうですね、多少、スキルのある方は、HDの交換等で延命を図ることができる場合があります。当方には、7年を超えている可動マシンがあります（さすがに現役ではありませんが）。
それが難しいとおっしゃる方は、ご家族や友人に譲ったり、中古ショップやオークションに出したりすることもよいでしょう。**（原則としてハードディスクの内容を完全に消去（単純な削除ではなくて）しておく必要はあります。）**
また、残しておく際も、積んでおくのでは、もったいないです。ぜひ、サーバとして活用したり、LINUXをインストールして、LINUXの勉強マシンとして活用する方法もあります。
そして、いよいよ、手に負えない故障が起きたら、潔く、メーカ等のリサイクル等に出しましょう。

【データのバックアップ】

パソコンが壊れるのも、災害が起きるのも、どちらも、いつ、起きるかはわかりませんが、必ず起こり、起きたときの被害は、甚大です。
必ず起きるという前提に立って対策を立てる必要がある点が共通です。
ここでは、パソコンが壊れても被害を最小限に食い止めるためのバックアップの極意を並べてみましょう。

《極意その1　データはマイドキュメントに保存すべし》

常にマイドキュメントにデータを保存する習慣や設定にしておけば、データのバックアップも容易です。

《極意その２　データを毎日、別媒体にコピーすべし》

デスクトップパソコンで2台のハードディスクが内蔵されている場合には、マイドキュメントのデータを別ドライブにコピーすることが効果的です。
別ドライブがなければ、USBメモリーでも結構です。

《極意その3　コピーはバッチファイルで行うべし》

コピー命令用のバッチファイルを作成し、そのショートカットをダブルクリックすることによりコピーが実行されます。サブフォルダを含めてマイドキュメントのすべてのファイルがバックアップ先にコピーされます。同一のファイル名のものがある場合は、バックアップ先より新しい場合に上書きします。

```
Cd□C:¥Documents and Settings¥ユーザ名¥My Documents
xcopy□　*.*□D:¥□/S /D /R /H /F /Y
```

※上記は、Windows XPの場合です。半角英数字（大文字小文字は区別されません）ですが、ユーザ名の部分は、場合によっては全角文字となることもあります。□は、半角スペースを表します。ドライブ番号Dは、バックアップ先のドライブ番号です。この2行をメモ帳で作成して、拡張子を必ず「.bat」で保存します。

《極意その4　メールもマイドキュメントに保存すべし》

アウトルックエクスプレス6であれば、ツールメニューからメンテナンスタブで保存先を変更できます。あらかじめ、マイドキュメント内に新規フォルダ（例：Mail）を作成しておいてから、保存先をそこに変更します。

《極意その5　アドレス帳やアカウントもコピーすべし》

アドレス帳は、アドレス帳のファイルメニューからエクスポートで、アカウントは、ツールからアカウントのエクスポートでいずれもマイドキュメントにコピーしておきましょう。

【システムの復元と自動システム回復】

パソコンが壊れると言ってもハードウェアが壊れるのではなく、Windowsシステムに不具合が生じても壊れたように見えます。
このようなときに対処するためには、データのバックアップと同様に日頃の用意が必要です。
もっとも、「システムの復元」（すべてのプログラムのアクセサリからシステムツールでシステムの復元を起動）で回復できる場合がありますので、まずは、そちらを試してみることが大切です。
「システムの復元」でも対処できない場合は、上述の自動システム回復（ASR）が威力を発揮します。システムの復元を使う場合には、特に準備はいりませんが、ASRを使う場合は、システムが正常なときにASRバックアップを行っておく必要があります。
ただ、残念なことにASRバックアップ機能は、XPのHome Editionには備わっていません。従いまして、パソコンメーカがプリインストールしているバックアップソフトがあれば、それを、無ければ市販またはフリーのソフトを利用する必要があります。

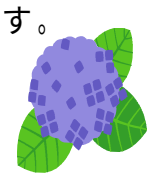
【ディスクのチェックとデフラグ】

定期的（1ヶ月～3ヶ月毎）にディスクのエラーのチェックを行いましょう。
その方法は、マイコンピュータからCドライブを右クリックして、プロパティを表示します。プロパティのツールタブに「エラーチェック」という項目がありますので、クリックして、「ファイルシステムエラーを自動的に修復する」と「不良セクタをスキャンし回復する」に両方ともチェックを入れてから実行しましょう。
Cドライブの場合は、再起動を促されますので、再起動後にチェックが実施されます。その他のドライブの場合は、Windowsのまま、チェックが実施されます。ドライブの大きさによりますが、2時間程度の時間が必要です。気長に終了を待ちましょう。
また、ディスクのチェックが終了した後で、スタートから「管理ツール」で「イベントビューア」でアプリケーションイベントを調べて、異常がなかったかどうかを確認してください。
そして、同様にデフラグを実行して、ディスクのフラグメンテーションを解消しましょう。

【リカバリ】

リカバリとは、パソコンを購入時の状態に戻す操作をいいます。文字通り、起死回生の手段です。（丸一日がかりの作業です）。
リカバリの方法は、パソコンの取扱説明書にたいてい、詳しく書かれているので、熟読してから行ってください。

★お知り合いにパソコンを習いたいという方がいらっしゃいましたらば、ぜひ、ご紹介ください。
大したお礼もできませんが、誠心誠意、努めさせていただきます。



南中野パソコン教室　荒畑竹雄
TEL 5340-3790

ホームページ：www.tokyo-pax.co.jp

★裏面の「コース及び費用一覧」内のコース、回数、教材費等は、随時、追加、変更、廃止されます。
また、＊印の項目は 2007/5 時点で開講時期等が未定です。該当コースの受講を希望される場合は、ウェブまたはお電話でご確認ください。

2007/5/29 発行